

総合計画と総合戦略の概要と関連性

新・大分市総合計画

基本構想（平成28年度～36年度）

- ・めざすまちの姿（都市像）
- ・6つの基本的な政策

<6つの基本的な政策>

- 第1部 市民福祉の向上
- 第2部 教育・文化の振興
- 第3部 防災安全の確保
- 第4部 産業の振興
- 第5部 都市基盤の形成
- 第6部 環境の保全

○昭和46年の策定以来、6次にわたる改定
○平成24年施行の「大分市まちづくり自治基本条例」で、①最上位計画としての策定義務、②市民の参画の機会を経て策定

基本計画

【第1次基本計画】（平成28年度～31年度）

【第2次基本計画】（平成32年度～36年度）

<19の具体的な政策>

- 第1章【特性をいかした生産業の展開】
- 第2章【活気ある流通・サービス業の展開】
- 第3章【安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実】
- 第4章【魅力ある観光の振興】

<34の施策>

- 第1節 商業、サービス業の振興
- 第2節 流通拠点の充実

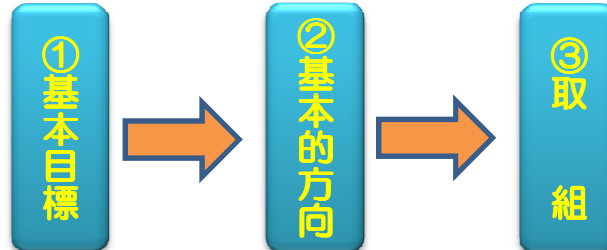
平成36年 人口見通し
48万人

大分市総合戦略

【計画期間：平成27年度～31年度】

将来人口ビジョンを踏まえ、人口減少に歯止めをかけるため、国、県の総合戦略を勘案して、地域の実情に応じた今後5カ年の目標や施策の基本方向・方針、具体的な取組をまとめるもの。

総合戦略の基本的な構成



【重要業績評価指標（KPI）の設定】

基本目標の下に盛り込む基本的方向については、それぞれに対して、客観的な重要業績評価指標（KPI）を設定する。
KPIをもとに、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略を改訂するというPDCAサイクルの確立が必要

基本的方向及び取組は、総合計画の各施策の内容と整合性を図りながら策定

アクションプラン

・総合戦略を実行していくための具体的な事業等を記載する。

「大分市人口ビジョン」の作成
対象期間 2060年
(1)人口の現状分析 (2)人口の将来展望

平成72年（2060年）
45万人